

せーあ今年も「早ね」早起き、朝ごはん!!

YOU'1 だより No364

H23. 1. 27

今年最初の塾だよりですので、「新年明けましておめでとうございます。今年も一緒に泣いたり、笑ったり、涙山の感動を味わいましょう。」今出来ること、今しなくては、いけないことをがんばりましょう。みんなのことをいつも笑顔で迎えてあげられる一年となりますように……。



第14回全日本電卓競技大会 全国大会 23.1.16

会場 東京 大原簿記学校

★団体競技

準優勝	YOU'1 B	青木 龍 輔 片桐 香 寿 美 石井 智 深
8位	YOU'1 A	吉橋 彩 奈 植月 真 由 美 山元 亜 里 沙
佳良賞	YOU'1 OB	竹内 知 恵 近藤 美 香 満間 由 香
佳良賞	チーム友愛	畠中 尚 範 磯谷 陽 子 小田 桐 昌 子
佳良賞	YOU'1 C	畠中 俊 哉 鈴木 梓 西山 真 史

★個人競技

佳良賞	石井 智 深
佳良賞	山元 亜 里 沙
佳良賞	片桐 香 寿 美
佳良賞	青木 龍 輔

★腕上げ算競技

2位	植月 真 由 美
佳良賞	畠中 尚 範

★小学生特別表彰

YOU'1キッズ	
	梶 匠 詔
	木下 友 誉

わん わん わん わん

優勝は出来ませんでした。が本当に楽し、大会でした。

第190回珠算能力検定試験 1級満点合格

平成22年10月24日(日)施行の第190回珠算能力検定試験において、小田桐昌子さん(YOU'1石川/日本珠算連盟豊田支部)と平野優花さん(YOU'1石川/日本珠算連盟豊田支部)が1級満点合格をされました。

高校1年生から1級満点に挑戦し続け、今回やっと合格することができました。字を書くのも、そろばんで計算するのも、丁寧にゆっくりというのを心掛けて試験に臨みました。

試験当日、始めは緊張で手が思うように動かなかったのですが、前日に教室の先輩から送ってもらった「落ちついて自分に言い聞かせて頑張る」というメールの文章を思い出し、「落ち着け、落ち着け」と何度も心の中で唱えました。すると、いつも教室で練習しているような感覚で集中することができました。

合格してから、教室でたくさんの人に「おめでとう」と祝ってもらえて、とても嬉しかったです。頑張り続けてよかったなと思いました。1級に合格してから7年、諦めずに続けていくことの大切さを再び感じました。

小田桐 昌子さん



私がそろばんを始めたのは、小学4年生の10月ごろでした。それから現在まで約4年間続けてきました。きっかけは小学3年生の時に、算数の授業でそろばんを習い、面白そうと思ったからです。友達も習っていると知ったことで、そろばん教室に通いだし、珠算・暗算を一生懸命練習しました。

珠算1級に合格した時、先生から今度は1級満点合格への挑戦を勧められました。今までの練習とは違い、玉をより正確にはじくように集中しました。試験前日の練習でなかなか満点がとれず、最後の練習で、やっと満点をとることができました。先生は「これで安心して試験ができるね。」と言われました。

そして、本番で私は安心して試験を受けることができました。これからは段位の練習をがんばりたいです。

平野 優花さん



おめでとうね 本部審査も通って、会議所からの依頼で、満点合格よるこひのコメントが会議所会報で紹介されました。

息先生の心
下の字真は昨年末迄、矢野県明石商業高校の生徒さん6人が先生と共にYOU'1での電卓合同練習に参加してくれました。午後3時から9時までみっちり、それかうを古屋で一泊して帰られました。
みんなが同じ目標に向かって頑張る姿は本当に美しい。

第14回全日本電卓競技大会



※14年間おこしと出場し続けてくれた人が何人もいることがすばらしいと思いませんか?

2月のよてい

- 6日(日) 電卓検定
- 11日(金) 建国記念の日 休み
- “ “ 検定受験者 特別練習
- 13日(日) 段位認定全国検定
- 27日(日) 東海か7° (古屋)

★19(土)AM.20(日)PM.電卓初指導



1月型内検定合格者

④級	新立 奈 末 矢頭 義 雄 福地 美 帆 深野 亮 輔	⑤級	須藤 由 希 翔 上原 昌 大	⑦級	太田 愛 梨 中谷 裕 介 山口 瑞 稀 石松 公 里	⑧級	杉浦 菜 奈 重松 伊 吹 久保 翔 太
	⑥級	近藤 哲 平 野 首 柚 乃					

全国珠算競技大会
そろばんクリスマスカップ2010
日本一決定戦 成績表
会場：さいたま市文化センター 期日：2010年12月26日(日)

個人総合競技

そろばん日本一

青木 龍輔 (28才・愛知) You'1石川



鬼先生の心
龍君「日本一、おめでとう!!」
昨年10月に自分の望を聞かれたので
珠算大会でYou'1から出場して
もらうのはきつと最後の大会のはず。
ホメテクヤうれしくて表彰される
舞台の下で写真とりにまわっていたら
主催者の方から「青木選手の先生です!!」
って呼ばれて舞台上へ招かれ
最高に幸せな瞬間でした。
そのおかげでこの「ほろもりの心」に
「今の僕があるのは石川先生のおかげです」
なんて言ってくれました。龍の恩返し?
ありがとうございました涙が出た。

★小学5・6年の部 2位 梶匠詔
★小学2年生以下の部 27位 高橋大樹
(総合競技以外にも数々入賞してくれましたネ)



2011年1月15日
今年は2人の新成人が教室で
待つ私の祈りの報告に来てくれ
ました。他にタイトルの写真メールで
知らせてくれた人もいました。
左の写真は服部遼馬君と
河合穂波さんです。
立派に成長してくれましたネ。
どうか正しい道を歩いて下さい。

★心を込めて書きました。読んで下さい。★小さい子はお家の人に読んでもらってね。



鬼先生の心
元旦の朝いつものように届いたばかりの手紙を見てみると、その中の1枚
に目が止まりました。それは、大きなお腹の妊婦さんの
写真年賀状でした。もうすぐママになる女性の右手とパパに
なる男性の左手がやさしく、愛しく大きなお腹を包んでいる。
生まれてくる我が子を温かく抱いているという愛一杯の1枚でした。
私は新年早々にこんな感動的な報告ありかとう。とメールしました。
「しばらくすると次の様な返信がきました。」

「バタバタして、メールで失礼します。今朝元旦の5:4PMに無事長男が誕生
しました。名前はまだ決ま、てませんが22/10あり元気です。陣痛が始まってから12時間
と結構な難産でしたが、さっちゃん頑張ってくれました。僕も12時間立合いましたか
生まれた瞬間は、二人共涙でした。出てきてくれてありがとうございます。とてもめでたい正月になりました。」
このめでたい幸せな家族は、昨年6月大阪でとよさき整骨院を開院した元塾生の川村淳さんです。
淳君おめでとう。命のバトンが出来たね。「私が僕も幸せになります。」と言いつつ、あなただけの素晴らしいお家さんに
脱帽です。歩いてきた人生の辛かったことや苦しかったことが全部うれし涙に変わりましたネ。私、うれしくて、

宮崎県の口蹄疫 殺さなければならなかった理由
平成22年8月27日、129日間に及んだ口蹄疫が終息した。健康な牛や豚を含め約29万頭が、日本の畜産業を守るために犠牲になった。最後に処分されたのは、「生かしておく事が宮崎県の畜産業のために成る」と、殺処分を拒み続けてきた萬田長久さんが飼育する6頭の「民間種牛」だった。殺処分される日、長年自分たちの生活を支えてくれたことに感謝の気持ちを込めて、萬田さんは6頭の牛に花束を贈った。この映像に泣けた。

タレントの武田鉄矢さんがラジオで、「日本の畜産業者の方々の心の優しさに胸を打たれました。飼いが牛に花束を捧げるといふ、この倫理観の高さに圧倒されました。」と話していた。終息が宣告された日、与党民主党の枝野幹事長(当時)が宮崎入りし、被害農家の方々に前に「今回の口蹄疫は単なる災害や病気ではなく、社会的現象と捉えている」と話した。その場に、口蹄疫の第一例目を発見し、家畜保健所に通報した獣医師・青木淳一さんがいた。青木さんは幹事長に訴えた。

「口蹄疫がなぜ国を滅ぼすと言われているのかというと、国の経済を揺るがす問題だからです。そしてそれを止めたのはこの農家の方々です。国を守るためにワクチンを打って殺処分したんです。だから、これからの復興も国策として取り組んでください。」よくよく話を聞いてみると①口蹄疫は人に感染しない②口蹄疫に感染してもその牛が死に至る確立は非常に小さい③口蹄疫は治る病気である、ということが分かった。途上国では口蹄疫の牛が出て、しばらく放っておくと治ってしまうそう。つまり、口蹄疫はそれほど怖い病気ではない。だったらなぜあんなに躍起になって殺さなければならなかったのか。青木さんの「口蹄疫は国の経済の問題なのです」という話を聞いて、その答えがやっと分かった。世界の畜産国は、口蹄疫ウイルスが国内にいない「清浄国」と、国内にいる「汚染国」に区別されている。口蹄疫は人間には無害なので「汚染国」でも牛肉を国内で

鬼先生の心
皆さんは知っていましたか?こんなに深い理由があったことを、私はテレビで感染もしていない元気な牛達が次々処分されている映像を、ぼんて?なぜ?とかわいそうで見ることが出来ませんでした。国を救った宮崎の関係者の人達ありがとうございます。改めて食の命に感謝しなければいけませんネ。(どうでも載せたくて)

流通させているし、輸出もしている。だが、国際的な取り決めで「汚染国」の牛肉は「清浄国」に輸出できない。「汚染国」同士で取引することになる。「汚染国」になれば、他の「汚染国」から安い牛肉が大量に入ってきて、牛肉の価格破壊が起こるそうだと日本の畜産農家は壊滅、ひいては日本経済にも大打撃となる。そういう意味で、約29万頭の牛や豚の犠牲と畜産農家の苦悩と涙の上に、日本の畜産業は守られた。

みやざき中央新聞編集長 水谷もりひと著
読者が涙した新聞の社説より